

景観・みどりに関するアンケート調査結果

	ねらい	分析項目	該当ページ	設問番号	
				市民	事業所
(1)属性	・適宜他設問とのクロス集計を行い、属性別の集計を行う。	-	3~8	17 ~ 22	17 ~ 28
(2)景観対象の満足度	・計画の方向性検討に活用するため、施策を講じるべき景観対象を大枠で把握し、どのような施策（保全、改善等）を行うか検討する。	・市民の満足度 ・事業所の満足度	9~11	2	2
(3)お気に入りの眺め・好きでない眺め	・施策を講じるべき景観対象を具体的な場所とともに把握し、どのような施策（保全、改善等）を行うか検討する。 ・白井市景観調査検討業務で抽出した対象以外に、保護・改善を行うべき景観対象がないかを確認する。	・お気に入りの眺め ・好きではない眺め	12~16	3 4	-
(4)景観に対する認識	・回答者の属性と景観主体の学びの度合いのクロス集計を行い、景観に関する啓発の施策検討に活用する。	・景観を大切にすまちづくりに期待する効果 ・白井市の景観に対する愛着、関心 ・景観を大切にすまちづくりの必要性	17~25	1 6 7	1 6 7
(5)みどりの満足度	・計画の方向性検討に活用するため、施策を講じるべき対象を大枠で把握し、どのような施策（保護、緑化、活用等）を行うか検討する。	・みどりの満足度	26~32	9	9
(6)お気に入りのみどり・改善すべきみどり・活用したいみどり	・施策を講じるべきみどりを具体的な場所とともに把握し、どのような施策（保護、緑化、活用等）を行うか検討する。	・お気に入りのみどり ・改善すべきみどり ・活用したいみどり	26~28 33~35	10 11 12	-
(7)みどりに対する認識	・回答者の属性と景観主体の学びの度合いのクロス集計を行い、景観に関する啓発の施策検討に活用する。	・みどりを大切にすまちづくりに期待する効果 ・恩恵享受の認識 ・白井市のみどりに対する愛着、関心 ・みどりを大切にすまちづくりの必要性	36~45	8 13 14	8 13 14
(8)制限に対する許容度・認知度	・施策、特に建築物や広告物に対する行為の制限への受容度を把握する。	・市民の許容度 ・事業所の許容度	46~49	5	3 15
(9)市民参画	・景観・みどりを大切にすることで実現するまちづくりの方向性を確認するために、地域活動への参加を促す施策によって白井市の景観・みどりの愛着や関心の向上につながるかを検証する。 ・白井市民の景観・みどりに関するまちづくりに対する意識醸成、取組への参画の広報を行う。	・市民の景観・みどりの魅力に関する取組状況 ・事業所の景観の魅力に関する取組状況 ・事業所の敷地内のみどりに関する取組状況 ・事業所の敷地外のみどりに関する取組状況 ・事業所のみどりに関する取組理由	50~58	15	4 5 10 11 12
(10)自由意見			-	16	16

市：市民アンケート 事：事業所アンケート

白井市 景観・みどりに関するアンケート調査結果

アンケート対象・調査期間・有効回収数等

調査	調査対象	調査期間	有効回収数	有効回収率
市民アンケート調査	全市民から無作為に選んだ2,000人	令和6年5月	868件	43.3%
事業所アンケート調査	課税情報をもとに選んだ市内事業所600所	令和6年5月	161件	26.8%

<アンケート調査結果の見方>

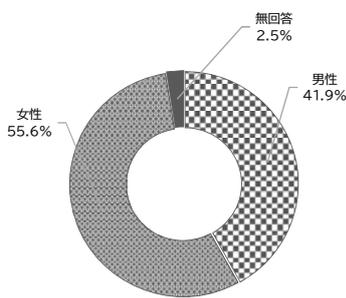
- ・集計は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを示している。したがって、数値の合計が100.0%にならない場合がある。
- ・クロス集計のうち、サンプル数の少ない属性については、誤差が大きいため分析の対象にしていない。
- ・単一回答の設問について複数回答をいただいたり、選択個数制限付きの複数回答の設問（3つまで回答など）について選択個数制限以上回答をいただいたりするものを無効回答として集計の対象から除いている。

市：市民アンケート 事：事業所アンケート

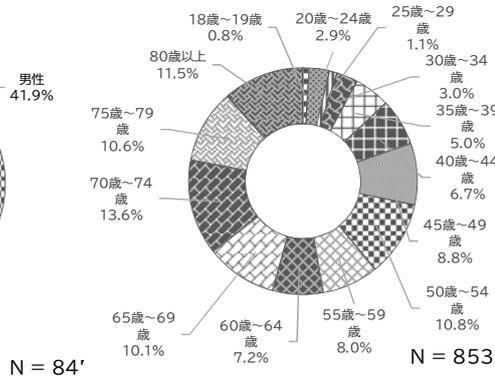
(1) 属性

①市民アンケート調査（有効回答者数 865人）

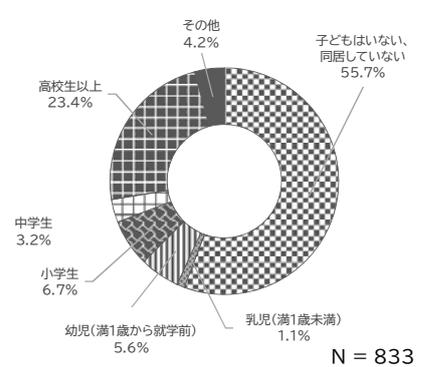
市 問17：性別



市 問18：年齢



市 問19：同居している最も小さい子どもの年代



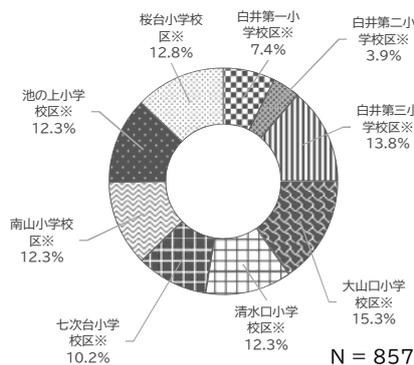
- ・回答者の性別をみると、女性が約6割、男性が約4割となっている。
- ・回答者の年齢をみると、約5割が60歳以上となっている。
- ・回答者の同居している最も小さい子どもの年代をみると、6割程度が子どもがいない、または同居していない。

市：市民アンケート 事：事業所アンケート

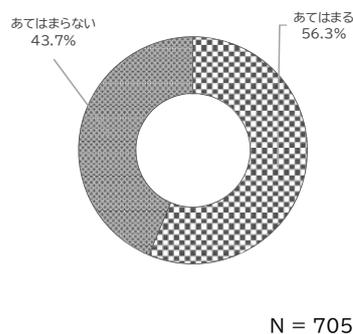
(1) 属性

①市民アンケート調査（有効回答者数 865人）

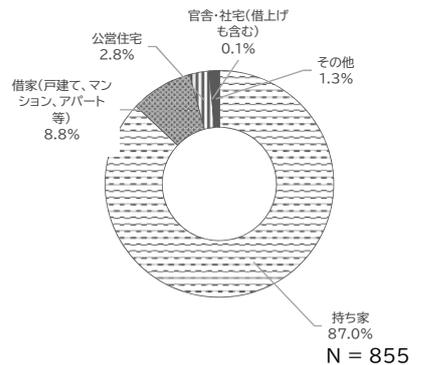
市 問20：居住地区



市 問21：居住地区の地区計画または地区まちづくり計画の有無



市 問22：住居形態

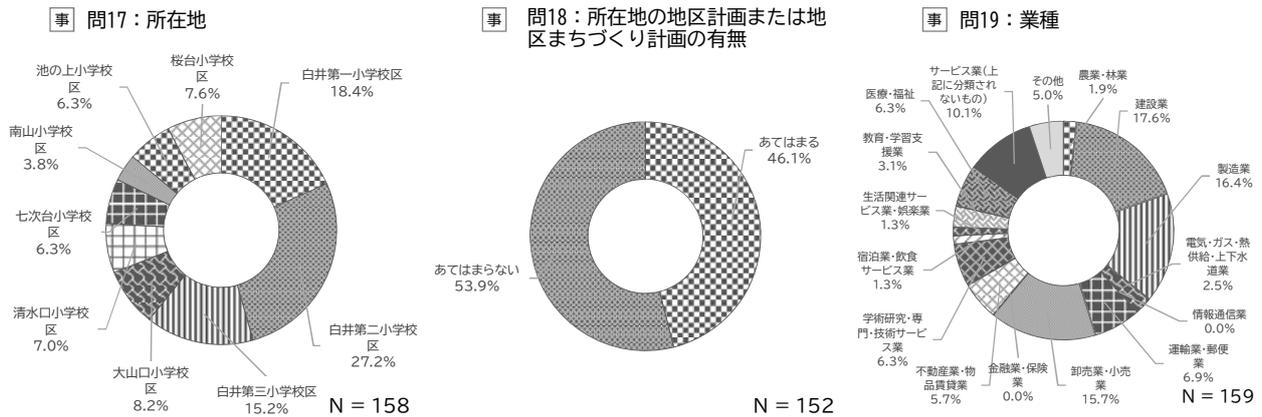


- ・回答者の居住地区をみると、大山口小学校区が最も多く、約15%となっている。
- ・回答者の居住地区の6割程度は、地区計画または地区まちづくり計画範囲内である。
- ・回答者の住居形態をみると、持ち家が最も多く、約9割となっている。

市：市民アンケート 事：事業所アンケート

(1) 属性

②事業所アンケート調査（有効回答者数 161人）

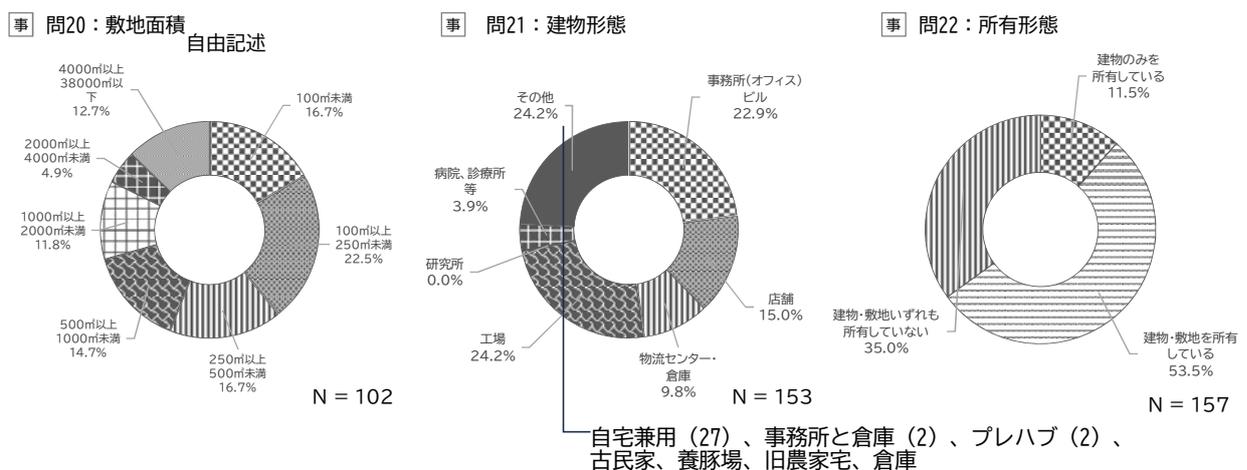


- ・回答事業所の所在地をみると、「白井第二小学校区」が最も多く、約3割となっている。
- ・回答事業所の所在地の5割程度は、地区計画または地区まちづくり計画範囲内である。
- ・回答事業所の業種をみると、「建設業」が最も多く、次いで「製造業」でともに約2割程度を占めている。

市：市民アンケート 事：事業所アンケート

(1) 属性

②事業所アンケート調査（有効回答者数 161人）



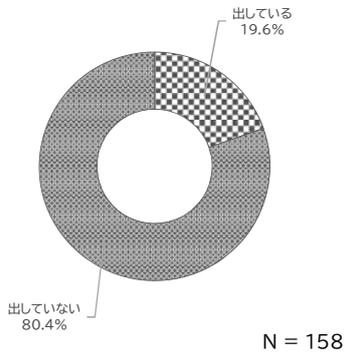
- ・回答事業所の敷地面積をみると、「100㎡以上250㎡未満」（一般的なドラッグストア程度の大きさ）が最も多く、約2割となっている。
- ・回答事業所の建物形態をみると、「工場」が最も多く約1/4を占める。
- ・回答事業所の所有形態をみると、「建物・敷地を所有している」が最も多く5割程度を占める。

市：市民アンケート 事：事業所アンケート

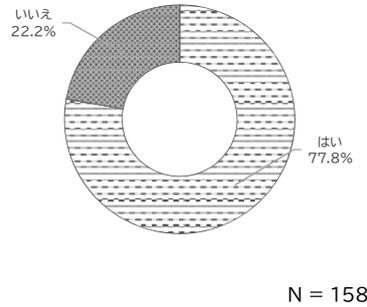
(1) 属性

②事業所アンケート調査（有効回答者数 161人）

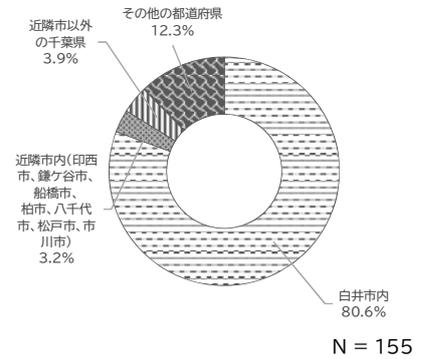
事 問23：看板・広告の有無



事 問24：本社本店かどうか



事 問25：本社本店所在地



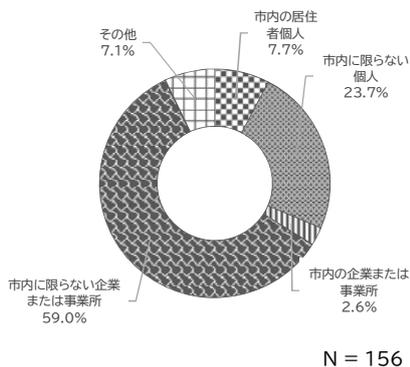
- ・回答事業所の約2割が、白井市内に看板等の物理的な広告を出している。
- ・回答事業所の約8割が、本社または本店である。
- ・回答事業所の本社本店所在地をみると、「白井市内」が最も多く8割程度を占めている。

市：市民アンケート 事：事業所アンケート

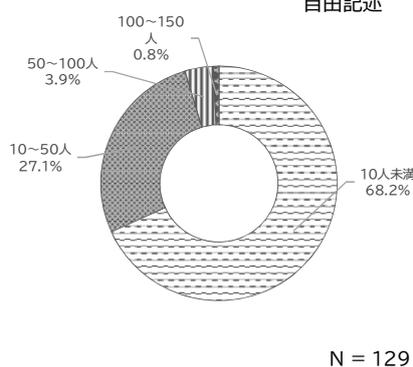
(1) 属性

②事業所アンケート調査（有効回答者数 161人）

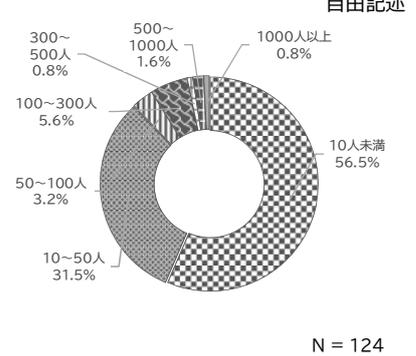
事 問26：主な顧客層



事 問27：事業所従業員数



事 問28：会社全体の従業員数



- ・主な顧客層をみると、「市内に限らない企業または事業所」が最も多く6割程度を占める。
- ・回答事業所の約7割が、事業所従業員数が10人未満である。
- ・回答事業所の約6割が、会社全体の従業員数が10人未満である。

市：市民アンケート 事：事業所アンケート

分析結果概要

■景観対象の満足度

- 満足度やお気に入りの眺めを構成する資源をみると、「ニュータウン等の住宅地内」や「並木道・緑道」、「身近な公園」、「橋梁」については、保全すべき景観資源であると考えられる。
 - 市民の満足度より、“満足”が最も多いのは、「ニュータウン等の住宅地内の風景」、次いで「並木道・緑道の風景」で、ともに5割程度である。
 - 事業所の満足度より、“満足”が最も多いのは、「ニュータウン等の住宅地内の風景」、次いで「身近な公園内の風景」で、4～5割程度である。
 - お気に入りの眺めを構成する資源をみると、「並木道」が最も多く全体の4割程度を占める。次いで、「橋梁」が多く2割程度を占める。
- 満足度をみると、「白井駅や西白井駅の駅前」や「富士地区、白井地区などの旧市街地」、加えて「旧街道沿い」と「別の使われ方が混在する田畑」については、改善すべき景観であると考えられる。
 - 市民の満足度より、“不満足”が最も多いのは、「白井駅や西白井駅の駅前の風景」で、次いで「富士地区、白井地区などの旧市街地の風景」で、ともに3割程度である。
 - 事業所の満足度より、“不満足”が最も多いのは「白井駅や西白井駅の駅前の風景」で、次いで「富士地区、白井地区などの旧市街地の風景」「ところどころ別の使われ方が混在する田畑の風景」となり、すべて3割程度である。
- どこにあるかわからないの回答をみると、「谷津田」や「法目地区、平塚地区などの在来集落地」については、周知すべき景観であると考えられる。
 - 市民の満足度より、“どこにあるかわからない”が最も多いのは、「谷津田の風景」で4割程度、次いで「法目地区、平塚地区などに代表される旧市街地の風景」で3割程度である。
 - 事業所の満足度より、“どこにあるかわからない”が最も多いのは、市民同様「谷津田の風景」で、次いで「法目地区、平塚地区などに代表される旧市街地の風景」で、ともに2割程度である。

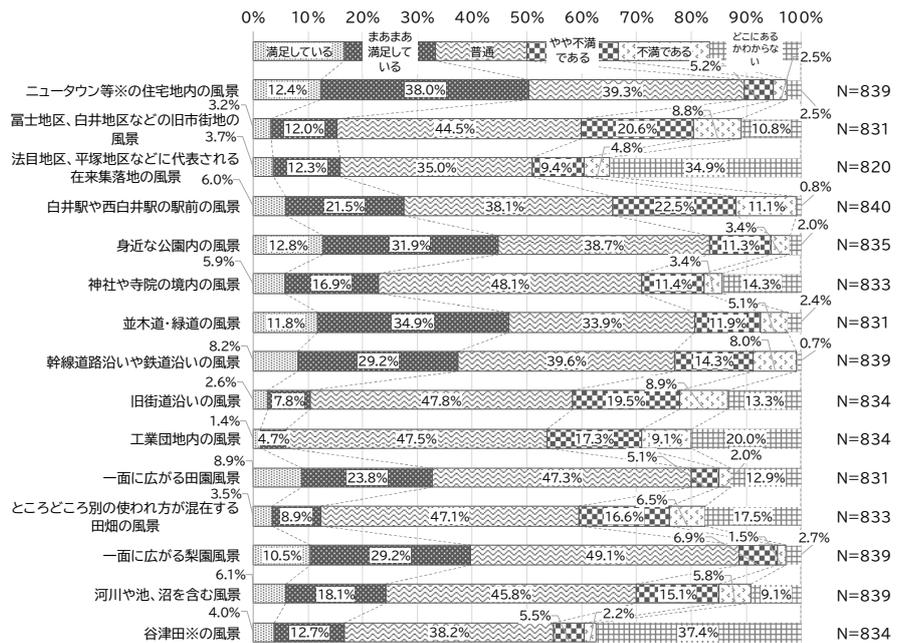
市：市民アンケート 事：事業所アンケート

(2) 景観対象の満足度

①市民の満足度

市 問2：現在の白井市内の眺めについて、あなたの満足度を教えてください。それぞれ1つに○

- 「満足している」「まあまあ満足している」を“満足”、「やや不満足である」「不満足である」を“不満足”として分析
- “満足”が最も多いのは、「ニュータウン等の住宅地内の風景」で、次いで「並木道・緑道の風景」となり、ともに5割程度である。
- “不満足”が最も多いのは「白井駅や西白井駅の駅前の風景」で、次いで「富士地区、白井地区などの旧市街地の風景」「ところどころ別の使われ方が混在する田畑の風景」となり、すべて3割程度である。
- 「どこにあるかわからない」が最も多いのは「谷津田の風景」で4割程度、次いで「法目地区、平塚地区などに代表される在来集落地の風景」で3割程度である。



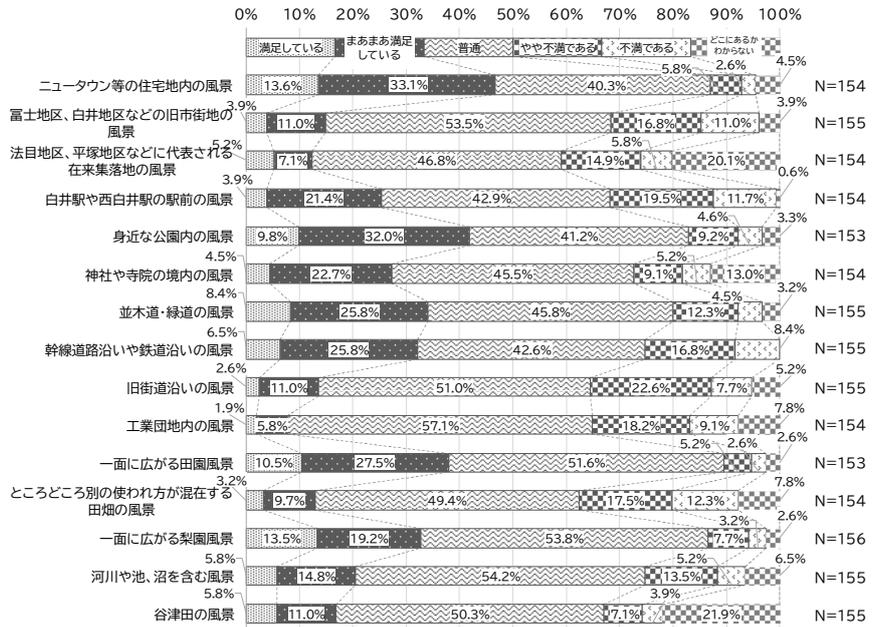
市：市民アンケート 事：事業所アンケート

(2) 景観対象の満足度

②事業所の満足度

問2：現在の白井市内の眺めについて、【問1】で回答した期待に対する貴事業所の活動としての満足度を教えてください。それぞれ1つに○

- ・“満足”は、「ニュータウン等の住宅地の風景」で最も多く5割程度、次いで「身近な公園内の風景」で4割程度である。
- ・“不満足”は、「白井駅や西白井駅の駅前の風景」で最も多く、次いで「旧街道沿いの風景」で、ともに3割程度である。
- ・「どこにあるかわからない」は、「谷津田の風景」で最も多く、次いで「法目地区、平塚地区などに代表される在来集落地の風景」で、ともに2割程度である。



市：市民アンケート 事：事業所アンケート

白井市 景観・みどりに関するアンケート調査結果

分析結果概要

■お気に入りの眺め・好きでない眺め

- ・お気に入りの眺めをみると、**白井市民が認識する景観の特性は、グラウンドレベルで楽しむ並木道等の自然的・軸的な景観資源と橋梁などの都市的・眺望的景観資源から見る眺めにあると考えられる。**したがって、過年度報告書に記載された景観資源に、自然的・都市的眺望景観資源を加え、保全・改善を検討することが考えられる。
- ・お気に入りの眺めの性質と形態をみると、「自然的で軸的な資源」が最も多く全体の4割程度を占める。次いで、「都市的な眺望景観資源」が多く1/4程度を占める。
- ・お気に入りの眺めの資源をみると、「並木道」が最も多く全体の4割程度を占める。次いで、「橋梁」が多く2割程度を占める。
- ・好きではない眺めをみると、「道路、公園など公共施設のゴミの投棄、植栽などの維持管理」と「資材置き場や太陽光ソーラーパネル設置などの土地利用、廃材などの堆積」については、改善が求められている。
- ・好きではない眺めから類推される景観阻害要因を分類すると、「道路、公園など公共施設のゴミの投棄、植栽などの維持管理」が最も多く2割程度を占め、次いで「資材置き場や太陽光ソーラーパネル設置などの土地利用、廃材などの堆積」も2割程度を占める。
- ・好きでない眺めから類推される景観阻害要因と過年度報告書に記載された景観阻害要因をみると、市内の景観阻害要因（案）を下表とすることが考えられる。

1	デザインや華美な色彩などの広告物			
2	空き家・空き店舗			
3	建築物などのボリューム			
4	建築物などのデザインや色彩			
5	耕作放棄地・不法投棄			→内容を変更
6	資材置き場や太陽光ソーラーパネル設置などの土地利用、廃材などの堆積			
7	道路、公園など公共施設のゴミ投棄、植栽などの維持管理			
8	白井駅、西白井駅の開発			→新規追加
10	未開通道路			
11	道路幅員、歩道幅員が狭い・ない			

市：市民アンケート 事：事業所アンケート

(3) お気に入りの眺め・好きではない眺め

①お気に入りの眺め

市 問3：白井市内でお気に入りの眺めはありますか。あれば、具体的な眺めの対象、みる場所、季節、時間帯を教えてください。自由記述

		性質			
		自然的資源	都市的資源	歴史的資源	
形態	点的資源	0.2%	10.0%	0.5%	N=67
	軸的資源	41.7%	5.7%	0.2%	N=300
	面的資源	15.2%	1.6%	0.0%	N=106
	眺望景観資源	0.8%	24.1%	0.0%	N=157
		N=365	N=261	N=4	

※自由記述を過年度報告書の景観資源に応じて分類して集計

・お気に入りの眺めの性質と形態をみると、「自然的で軸的な資源」が最も多く全体の4割程度を占める。次いで、「都市的な眺望景観資源」が多く1/4程度を占める。

市：市民アンケート 事：事業所アンケート

(3) お気に入りの眺め・好きではない眺め

①お気に入りの眺め

参考：過年度報告書における景観資源の分類

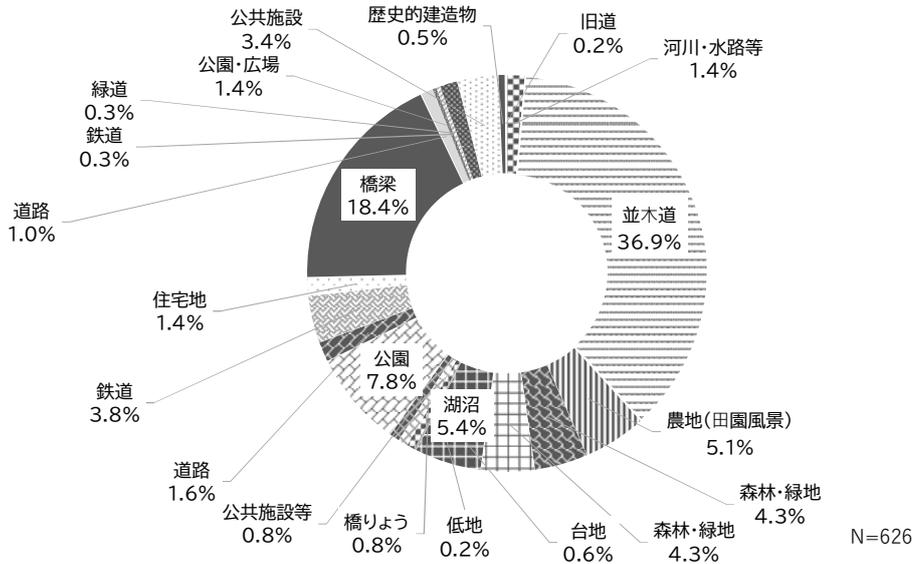
分類		性質による分類		
		自然的資源	都市的資源	歴史的資源
形態による分類	点的資源	独立樹 天然記念物	橋りょう 公共施設等 公園	歴史的建造物 遺跡・史跡
	軸的資源	河川・水路等 並木道	道路 鉄道 商店街・沿道商業地	旧道
	面的資源	農地 森林・緑地 湖沼	住宅地 商業地 工業地	歴史的街区
	眺望景観資源	眺望点 (台地上等)	眺望点 (橋りょう等)	—

市：市民アンケート 事：事業所アンケート

(3) お気に入りの眺め・好きではない眺め

①お気に入りの眺め

市 問3：白井市内でお気に入りの眺めはありますか。あれば、具体的な眺めの対象、みる場所、季節、時間帯を教えてください。自由記述



※自由記述を過年度報告書の景観資源に応じて分類して集計

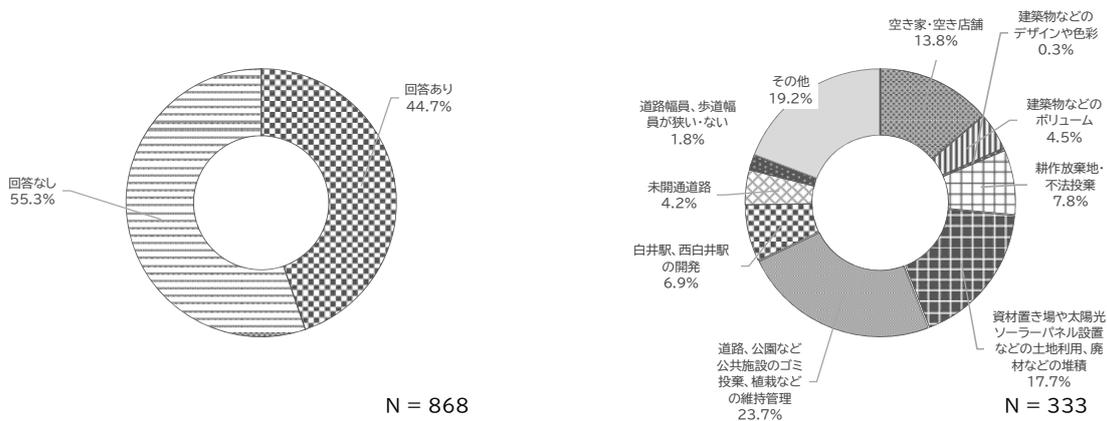
•お気に入りの眺めの資源をみると、「並木道」が最も多く全体の4割程度を占める。次いで、「橋梁」が多く2割程度を占める。

市：市民アンケート 事：事業所アンケート

(3) お気に入りの眺め・好きではない眺め

②好きではない眺め

市 問4：白井市内であまり好きではない眺めはありますか。あれば、具体的な眺めの対象、みる場所を教えてください。自由記述



※自由記述を分類して集計

※自由記述を分類して集計

•回答者の約4割が好きではない眺めについて回答した。

•好きではない眺めから想定される景観阻害要因を分類すると、「道路、公園など公共施設のゴミの投棄、植栽などの維持管理」が最も多く2割程度を占め、次いで「資材置き場や太陽光ソーラーパネル設置などの土地利用、廃材などの堆積」も2割程度を占める。

市：市民アンケート 事：事業所アンケート

分析結果概要

■景観主体の景観に対する認識

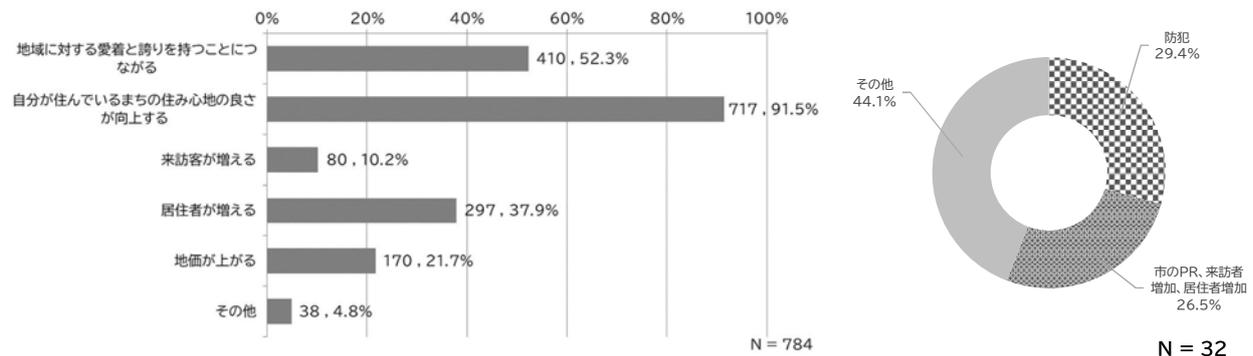
- 景観を大切にすまちづくりに期待する効果をみると、**景観まちづくりにおいては、住環境向上及び地域に対する愛着・誇りの形成に加えて、市の魅力度向上が期待される。**
 - 市民の景観を大切にすまちづくりに期待する効果としては、「自分が住んでいるまちの住み心地の良さが向上する」がもっとも多く9割程度、次いで「地域に対する愛着と誇りを持つことにつながる」が5割程度を占める。
 - 事業所が景観を大切にすまちづくりに期待する効果としては、「企業市民として地域に対する愛着と誇りを持つことにつながる」がもっとも多く、次いで「まちの個性と魅力が高まることで、企業活動の活性化につながる」でともに5割程度を占める。
- 白井市の景観に対する愛着・関心をみると、愛着・関心は一定程度あるが、**今後愛着・関心が薄い層についての啓発も考えられる。**
 - 市民の白井市の景観に対する愛着は、“ある”が6割程度である。愛着が薄い属性としては、在来集落地住民、子育て世代である。
 - 事業所の白井市の景観に対する関心は、“ある”が5割程度、「どちらでもない」が4割程度である。関心が薄い属性としては、企業または事業所を主な顧客とする事業所である。
- **景観を大切にすまちづくりの必要性は概ね理解がなされている**と考えられる。
 - 景観を大切にすまちづくりの必要性は、市民では“必要”が9割程度、事業所では“必要”が7割程度である。

市：市民アンケート 事：事業所アンケート

(4) 景観に対する認識

①市民が景観を大切にすまちづくりに期待する効果

市 問1：景観を大切にすまちづくりで、どのような効果を期待しますか。あてはまるものすべてに○



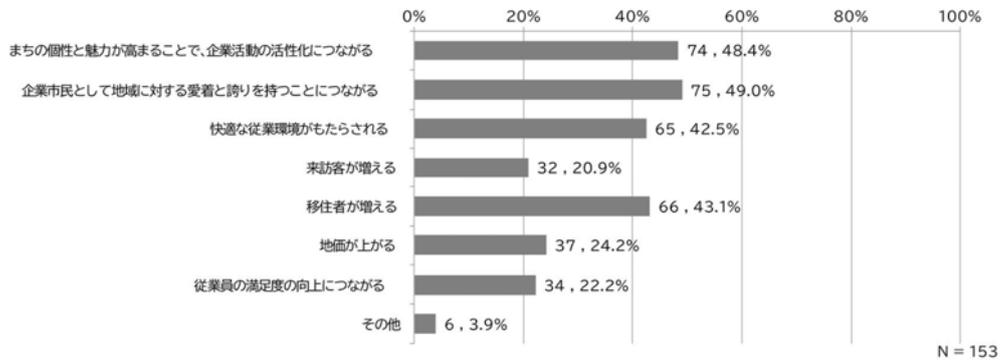
- 市民の景観を大切にすまちづくりに期待する効果としては、「自分が住んでいるまちの住み心地の良さが向上する」がもっとも多く9割程度、次いで「地域に対する愛着と誇りを持つことにつながる」が5割程度を占める。

市：市民アンケート 事：事業所アンケート

(4) 景観に対する認識

②事業所が景観を大切にすまちづくりに期待する効果

問1：景観を大切にすまちづくりに対して、貴事業所が期待する効果は何ですか。あてはまるものすべてに○



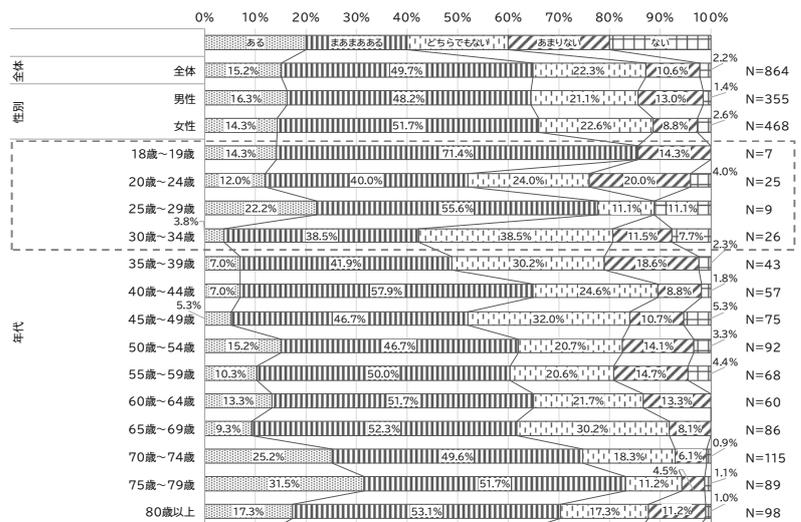
・事業所が景観を大切にすまちづくりに期待する効果としては、「企業市民として地域に対する愛着と誇りを持つことにつながる」がもっとも多く、次いで「まちな個性と魅力が高まることで、企業活動の活性化につながる」でともに5割程度を占める。

市：市民アンケート 事：事業所アンケート

(4) 景観に対する認識

③市民の白井市の景観に対する愛着（性・年代別）

問6：あなたは白井市の景観に対して愛着がありますか。1つに○
 ・年代に着目すると、特に70歳以上では「ある」「まあまあある」をあわせた“ある”が7割以上となっている。



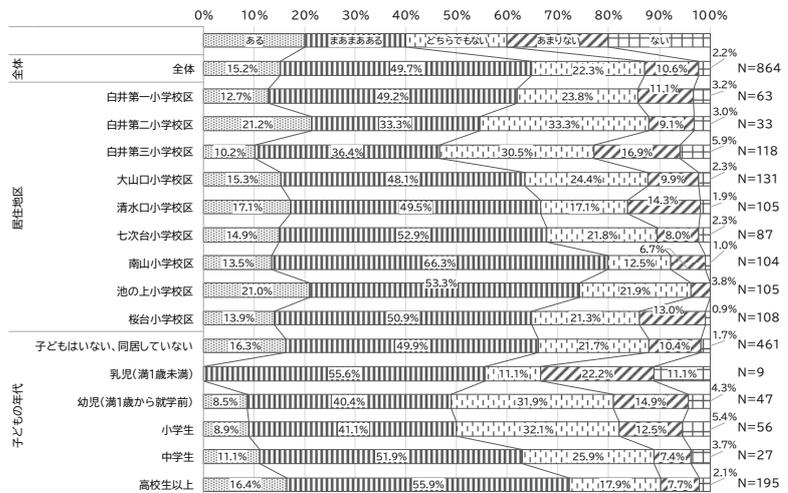
市：市民アンケート 事：事業所アンケート

(4) 景観に対する認識

③市民の白井市の景観に対する愛着（居住地区・子どもの年代別）

- 景居住地区に着目すると、在来集落地（白井第1～3小学校区）では“ある”が5～6割に対し、ニュータウン地区では6割～8割程度である。
- 最も小さい子どもの年代に着目すると、子どもはいる、同居していないでは、“ある”が7割程度に対し、同居している子どもの年代が幼児、小学生では5割程度となっている。

市 問6：あなたは白井市の景観に対して愛着がありますか。1つに○

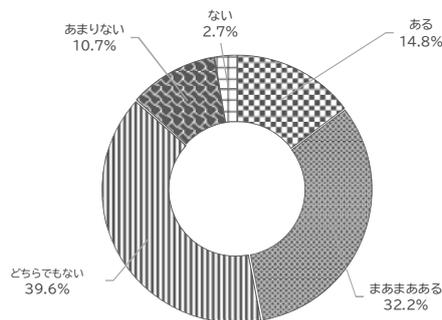


市：市民アンケート 事：事業所アンケート

(4) 景観に対する認識

④事業所の白井市の景観に対する関心

事 問6：貴事業所は白井市の景観に対して関心がありますか。1つに○



N = 149

- 「ある」と「まあまあある」を合わせて“ある”と、「あまりない」と「ない」を合わせて“ない”として分析
- 白井市の景観に対する関心は、「どちらでもない」が最も多く4割程度である。
- ただし、“ある”が5割程度である。

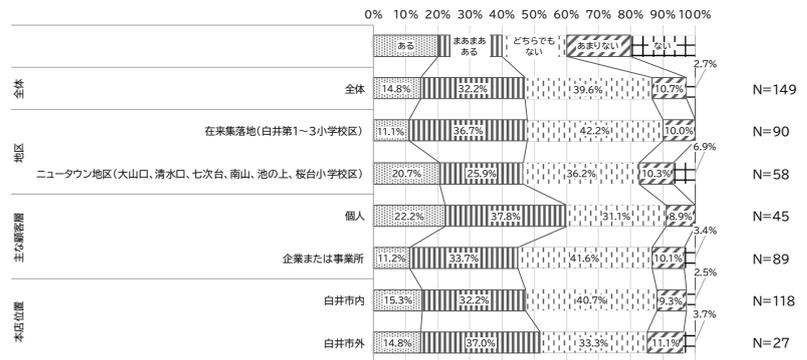
市：市民アンケート 事：事業所アンケート

(4) 景観に対する認識

④事業所の白井市の景観に対する関心

- 主な顧客層に着目すると、企業または事業所は個人と比較して“ある”が少なく、4割程度を占める。

問6：貴事業所は白井市の景観に対して関心がありますか。1つに○

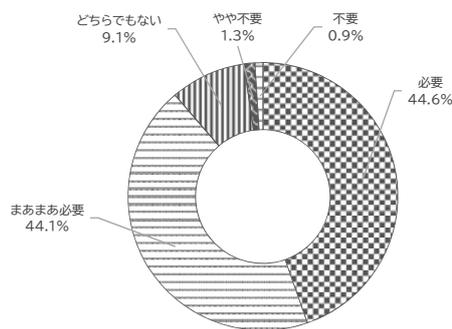


市：市民アンケート 事：事業所アンケート

(4) 景観に対する認識

⑤市民の白井市の景観を大切にすまちづくりの必要性

問7：あなたは景観を大切にすまちづくりが白井市やあなたにとって必要だと考えますか。1つに○



N = 849

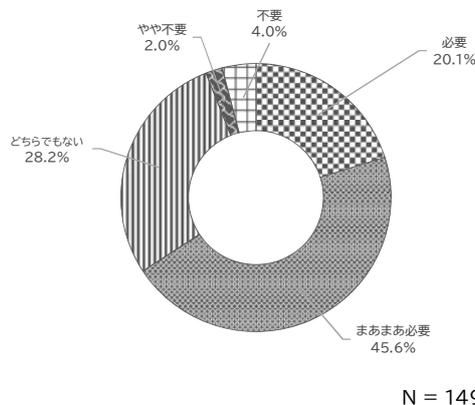
- 「必要」と「まあまあ必要」を合わせて“必要”と、「やや不要」と「不要」を合わせて“不要”として分析
- 白井市の景観に対する必要性は、“必要”が9割程度である。

市：市民アンケート 事：事業所アンケート

(4) 景観に対する認識

⑥事業所の白井市の景観を大切にすまちづくりの必要性

■ 問7：貴事業所は景観を大切にすまちづくりが白井市や貴事業所にとって必要だと考えますか。1つに○



- ・「必要」と「まあまあ必要」を合わせて「必要」と、「やや不要」と「不要」を合わせて「不要」として分析
- ・白井市の景観に対する必要性は、「必要」が7割程度である。

市：市民アンケート ■：事業所アンケート

分析結果概要

■みどりの満足度とお気に入りのみどり

- ・みどりの満足度とお気に入りのみどりをみると、「総合公園や運動公園」、「街区公園・近隣公園・地区公園」、「市役所などの公共公益施設の樹木、芝生など」、「ニュータウン等の計画された住宅地の生け垣、樹木など」、「農地」については、保全の検討対象であると考えられる。
- ・市民の満足度より、「満足」が最も多いのは、「総合公園や運動公園の樹木、芝生など」、次いで「ご自宅周辺の樹木や並木など」で、ともに5割以上である。
- ・市民の満足度より、「満足」が「不満足」や「どこにあるかわからない」より多くの割合を占めるのは、「ご自宅周辺の樹木や並木など」「総合公園や運動公園の樹木、芝生など」「街区公園・近隣公園・地区公園の樹木、芝生など」「市役所などの公共公益施設の樹木、芝生など」「並木道や緑道」「道路沿いや鉄道沿いの並木など」「ニュータウン等の計画された住宅地の生け垣、樹木など」「緑地」「森林」「農地」である。
- ・事業所の満足度より、「満足」が最も多いのは「総合公園や運動公園の樹木、芝生など」、次いで「市役所などの公共公益施設の樹木、芝生など」「並木や緑道」「街区公園・近隣公園・地区公園の樹木や芝生」で、すべて4割程度である。
- ・事業所の満足度より、「満足」が「不満足」や「どこにあるかわからない」より多くの割合を占めるのは、「貴事業所周辺の樹木や並木など」「総合公園や運動公園の樹木、芝生など」「街区公園・近隣公園・地区公園の樹木、芝生など」「市役所などの公共公益施設の樹木、芝生など」「並木道や緑道」「道路沿いや鉄道沿いの並木など」「ニュータウン等の計画された住宅地の生け垣、樹木など」「緑地」「農地」である。
- ・市民のお気に入りのみどりがある場所としては、「道路沿いや鉄道沿い」が最も多く2割程度を占め、次いで「街区公園・近隣公園・地区公園」「並木や緑道」「総合公園や運動公園」「市役所などの公共公益施設」がそれぞれ1割程度を占める。※ただし、道路沿い・鉄道沿いと並木道や緑道についてはお気に入りかつ改善すべきであるという声が多いため、一概に保全することは考えられない。

市：市民アンケート ■：事業所アンケート

分析結果概要

■みどりの満足度と改善の検討対象であるみどり

- みどりの満足度と改善すべきみどりをみると、**道路沿いや鉄道沿いの並木、並木道や緑道に加えて、工業団地の各工場敷地内の樹木、富士地区、白井地区などの旧市街地の生け垣、樹木と森林、河川や池、沼については、改善の検討対象である**と考えられる。
 - 市民の満足度より、“不満足”が最も多いのは、「道路沿いや鉄道沿いの並木など」で、次いで「富士地区、白井地区などの旧市街地の生け垣、樹木など」で、ともに2割程度である。
 - 市民の満足度より、“不満足”が“満足”や「どこにあるかわからない」より多くの割合を占めるのは、「富士地区、白井地区などの旧市街地の生け垣、樹木など」「河川や池、沼」である。
 - 事業所の満足度より、“不満足”が最も多いのは、「道路沿いや鉄道沿いの並木など」で、次いで「森林」で、2～3割程度である。
 - 事業所の満足度より、“不満足”が“満足”や「どこにあるかわからない」より多くの割合を占めるのは、「工業団地の各工場敷地内の樹木など」「富士地区、白井地区などの旧市街地の生け垣、樹木など」「森林」「河川や池、沼」である。
 - 市民の改善すべきみどりがある場所としては、「道路沿いや鉄道沿い」が最も多く2割程度、次いで「並木道や緑道」が1割程度である。

市：市民アンケート 事：事業所アンケート

分析結果概要

■みどりの満足度と周知を図ることが考えられるみどり

- みどりの満足度をみると、**谷津田や法目地区、平塚地区などの在来集落地の生け垣や樹木、湧水池については、周知することが考えられる。**
 - “どこにあるかわからない”が最も多いのは、「谷津田」で、次いで「法目地区、平塚地区などに代表される在来集落地の生け垣、樹木など」「湧水池」で、すべて4割程度である。
 - 事業所の満足度より、市民同様どこにあるかわからない”が最も多いのは、「湧水池」で、次いで「法目地区、平塚地区などに代表される在来集落地の生け垣、樹木など」「谷津田」で、すべて3割程度である。

■みどりの満足度と活用したいみどり

- みどりの満足度と活用したいみどりより、**河川や池、沼や道路沿いについてはルールの変更や整備・維持管理の手法変更の検討を行う**ことが考えられる。
 - 市民の活用したいみどりがある場所としては、「総合公園や運動公園」が最も多く、次いで「街区公園、近隣公園、地区公園」でともに2割程度を占める。
 - 現在のルール・整備状況では活用が難しい取組での活用場所としては、「河川や池、沼」が最も多く3割程度、次いで「総合公園や運動公園」「街区公園・近隣公園・地区公園」「道路沿いや鉄道沿い」が1割程度である。

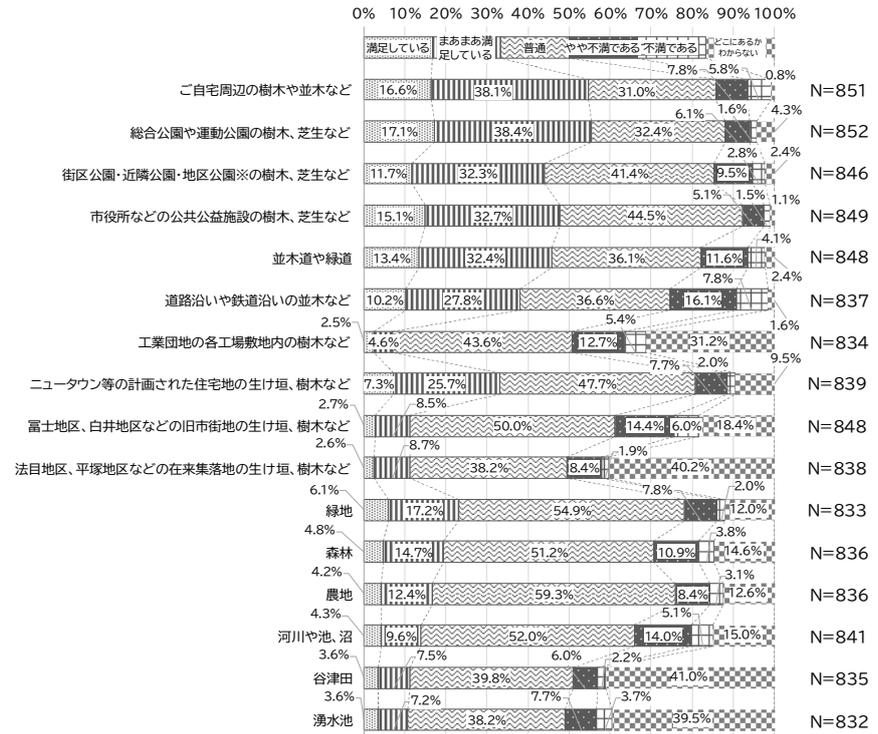
市：市民アンケート 事：事業所アンケート

(5) みどりの満足度

①市民の満足度

市 問9：現在の白井市におけるみどりについて、あなたの満足度を教えてください。それぞれ1つに○

- ・「満足」と「やや満足」を合わせて「満足」と、「不満」と「やや不満」を合わせて「不満」として分析
- ・「満足」が最も多いのは、「総合公園や運動公園の樹木、芝生など」、次いで「ご自宅周辺の樹木や並木など」で、ともに5割以上である。
- ・「不満」が最も多いのは、「道路沿いや鉄道沿いの並木など」で、次いで「富士地区、白井地区などの旧市街地の生け垣、樹木など」で、ともに2割程度である。
- ・「どこにあるかわからない」が最も多いのは、「谷津田」で、次いで「法目地区、平塚地区などに代表される在来集落地の生け垣、樹木など」「湧水池」で、すべて4割程度である。



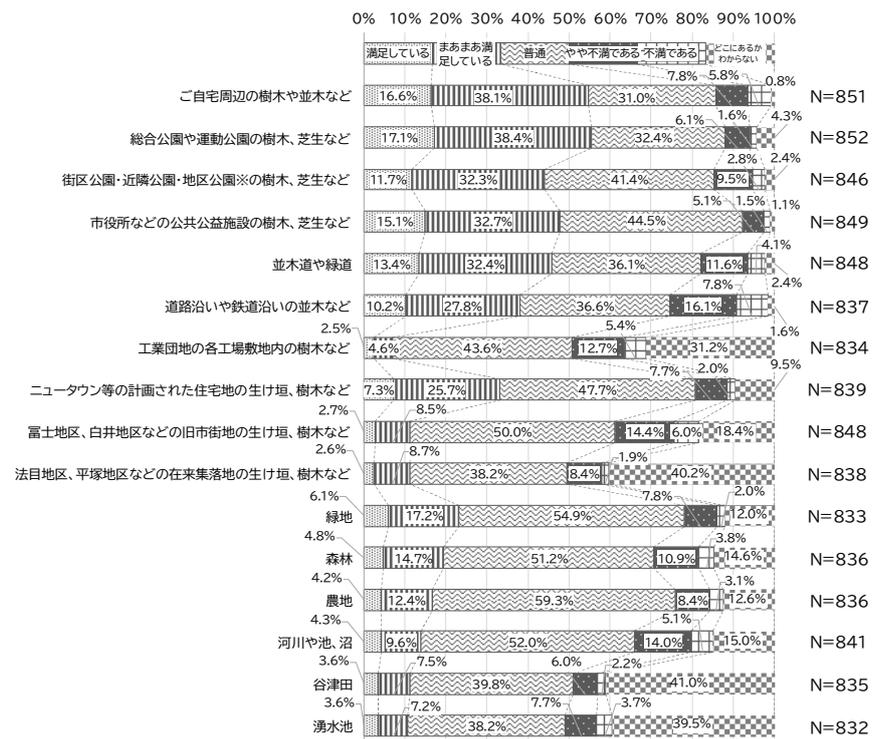
市：市民アンケート 事：事業所アンケート

(5) みどりの満足度

①市民の満足度

市 問9：現在の白井市におけるみどりについて、あなたの満足度を教えてください。それぞれ1つに○

- ・「満足」「不満」「どこにあるかわからない」のどの評価が最も多いか分析
- ・「満足」が最も多いのは「ご自宅周辺の樹木や並木など」「総合公園や運動公園の樹木、芝生など」「街区公園・近隣公園・地区公園の樹木、芝生など」「市役所などの公共公益施設の樹木、芝生など」「並木道や緑道」「道路沿いや鉄道沿いの並木など」「ニュータウン等の計画された住宅地の生け垣、樹木など」「緑地」「森林」「農地」である。
- ・「不満」が最も多いのは「富士地区、白井地区などの旧市街地の生け垣、樹木など」「河川や池、沼」である。
- ・「どこにあるかわからない」が最も多いのは「工業団地の各工場敷地内の樹木など」「法目地区、平塚地区などの在来集落地の生け垣、樹木など」「谷津田」「湧水池」である。



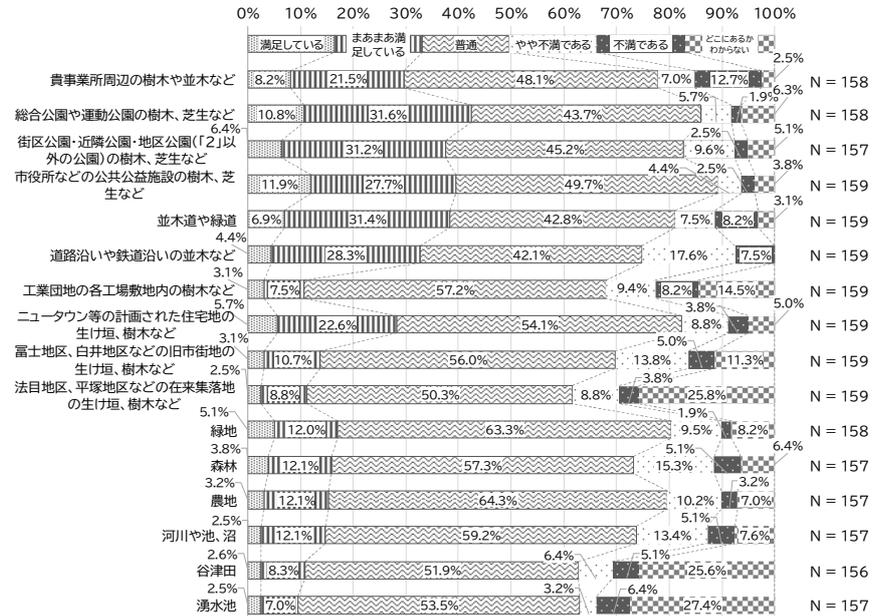
市：市民アンケート 事：事業所アンケート

(5) みどりの満足度

②事業所の満足度

問9：現在の白井市内のみどりについて、貴事業所としての満足度を教えてください。それぞれ1つに○

- ・「満足」と「やや満足」を合わせて「満足」と、「不満」と「やや不満」を合わせて「不満足」として分析
- ・「満足」が最も多いのは、「総合公園や運動公園の樹木、芝生など」、次いで「市役所などの公共公益施設の樹木、芝生など」「並木道や緑道」「街区公園・近隣公園・地区公園の樹木や芝生」で、すべて4割程度である。
- ・「不満足」が最も多いのは、「道路沿いや鉄道沿いの並木など」で、次いで「森林」で、2～3割程度である。
- ・「どこにあるかわからない」が最も多いのは、「湧水池」で、次いで「法目地区、平塚地区などに代表される在来集落地の生け垣、樹木など」「谷津田」で、すべて3割程度である。



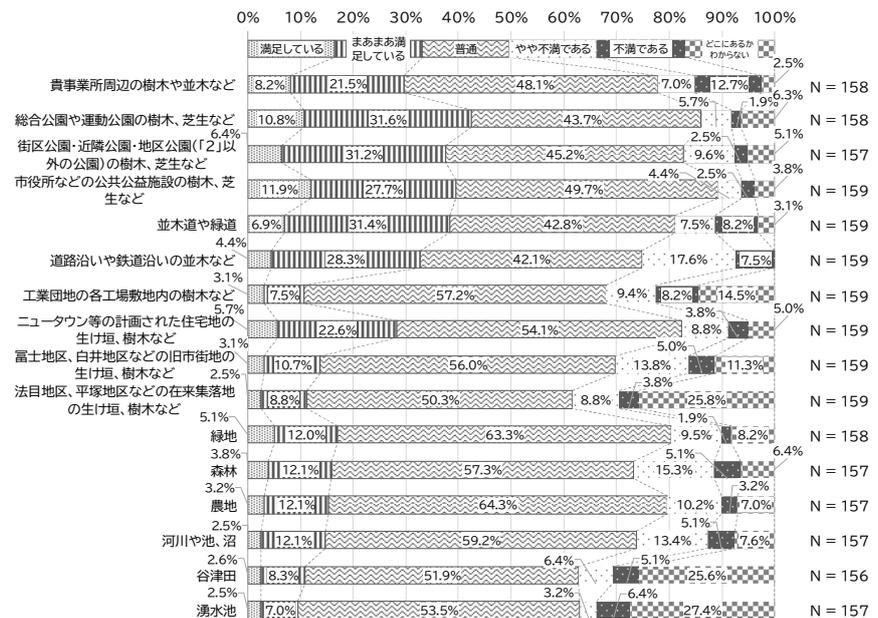
市：市民アンケート 事：事業所アンケート

(5) みどりの満足度

②事業所の満足度

問9：現在の白井市内のみどりについて、貴事業所としての満足度を教えてください。それぞれ1つに○

- ・「満足」「不満足」「どこにあるかわからない」のどの評価が最も多いか分析
- ・「満足」が最も多いのは「貴事業所周辺の樹木や並木など」「総合公園や運動公園の樹木、芝生など」「街区公園・近隣公園・地区公園の樹木、芝生など」「市役所などの公共公益施設の樹木、芝生など」「並木道や緑道」「道路沿いや鉄道沿いの並木など」「ニュータウン等の計画された住宅地の生け垣、樹木など」「緑地」「農地」である。
- ・「不満足」が最も多いのは「工業団地の各工場敷地内の樹木など」「富士地区、白井地区などの旧市街地の生け垣、樹木など」「森林」である。
- ・「どこにあるかわからない」が最も多いのは「法目地区、平塚地区などの在来集落地の生け垣、樹木など」「谷津田」「湧水池」である。



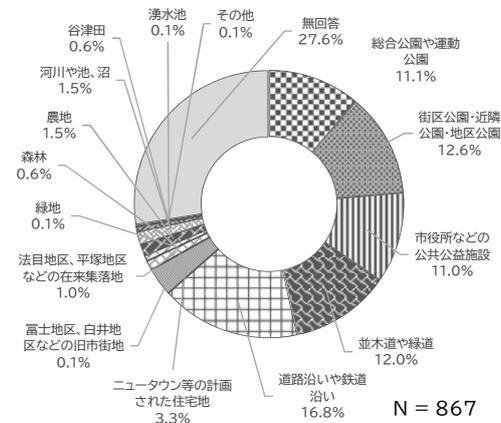
市：市民アンケート 事：事業所アンケート

白井市 景観・みどりに関するアンケート調査結果

(6)お気に入りのみどり・改善すべきみどり・活用したいみどり

①市民のお気に入りのみどり

市 問10：白井市内で、お気に入りのみどりはありますか。あれば、最もお気に入りのみどりがある場所を教えてください。
1つに○



- ・市民のお気に入りのみどりの回答者は3/4程度を占める。
- ・市民のお気に入りのみどりがある場所としては、「道路沿いや鉄道沿い」が最も多く2割程度を占め、次いで「街区公園・近隣公園・地区公園」「並木や緑道」「総合公園や運動公園」「市役所などの公共施設」がそれぞれ1割程度を占める。

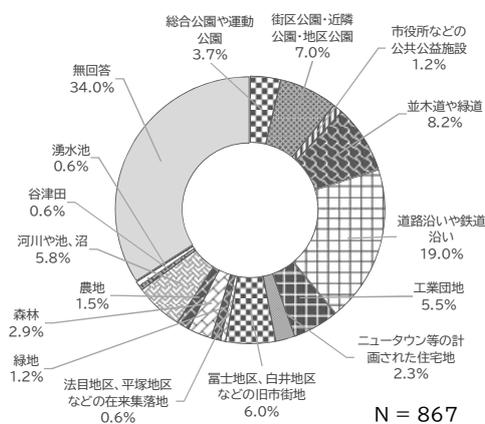
市：市民アンケート 事：事業所アンケート

白井市 景観・みどりに関するアンケート調査結果

(6)お気に入りのみどり・改善すべきみどり・活用したいみどり

②市民の改善すべきみどり

市 問11-1：白井市内で、今後改善すべきみどりはありますか。あれば、最も改善すべきみどりがある場所を教えてください。
1つに○



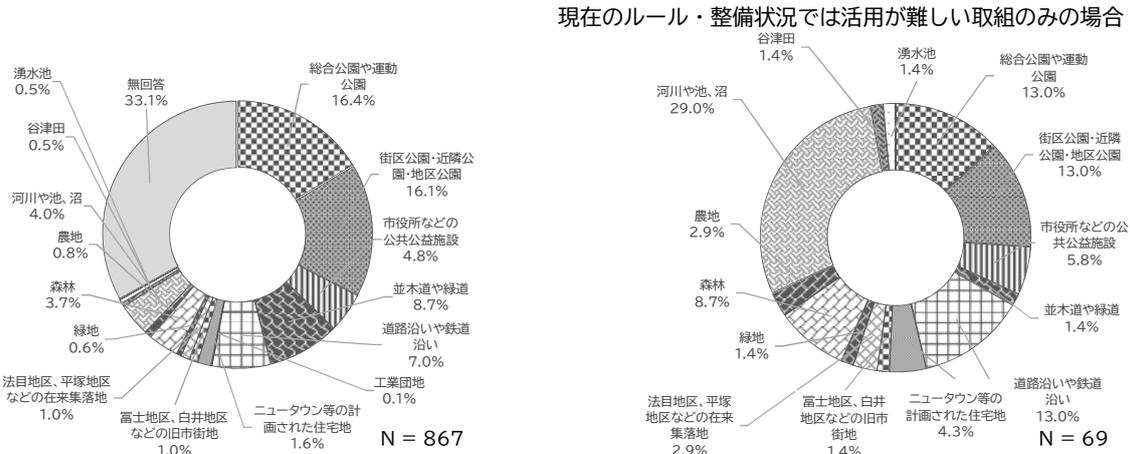
- ・市民の改善すべきみどりの回答者は7割程度を占める。
- ・市民の改善すべきみどりがある場所としては、「道路沿いや鉄道沿い」が最も多く2割程度、次いで「並木道や緑道」が1割程度である。

市：市民アンケート 事：事業所アンケート

(6)お気に入りのみどり・改善すべきみどり・活用したいみどり

③市民の活用したいみどり

市 問12-1：白井市内で、今後活用したいみどりはありますか。あれば、最も活用したいみどりがある場所を教えてください。
1つに○



- 市民の活用したいみどりの回答者は7割程度を占める。
- 市民の活用したいみどりがある場所としては、「総合公園や運動公園」が最も多く、次いで「街区公園、近隣公園、地区公園」でともに2割程度を占める。
- 現在のルール・整備状況では活用が難しい取組での活用場所としては、「河川や池、沼」が最も多く3割程度、次いで「総合公園や運動公園」「街区公園・近隣公園・地区公園」「道路沿いや鉄道沿い」が1割程度である。

市：市民アンケート 事：事業所アンケート

分析結果概要

■みどりに対する認識

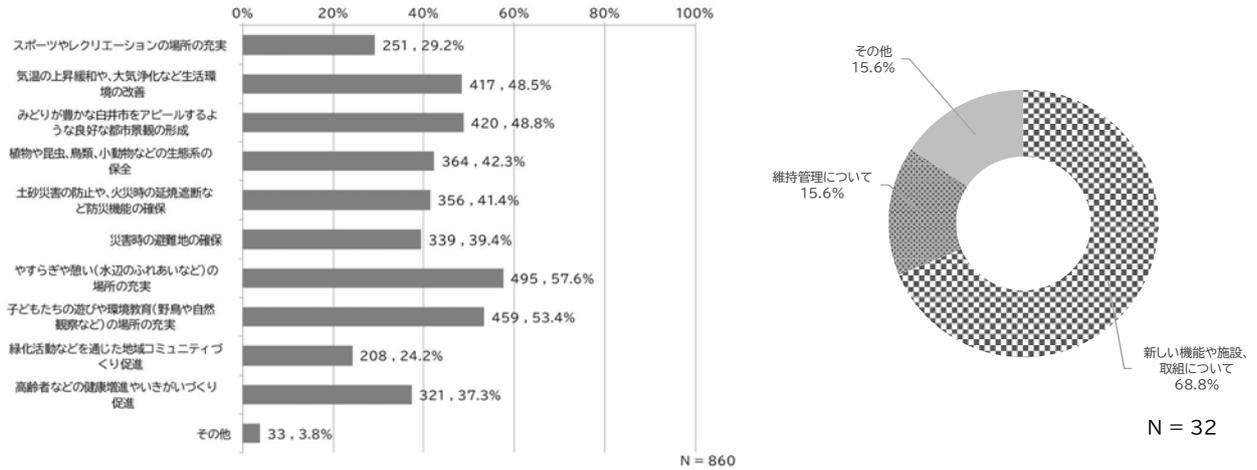
- みどりを大切にするまちづくりに期待する効果より、**みどりのまちづくりにおいては、利活用できるみどりの形成が期待される。**
 - 市民のみどりを大切にするまちづくりに期待する効果としては、「やすらぎや憩い（水辺のふれあいなど）の場所の充実」がもっとも多く6割程度、次いで「子どもたちの遊びや環境教育（野鳥や自然観察など）の場所の充実」が5割程度を占める。
 - 事業所が受けてるみどりが持つ機能の恩恵について、多くの機能で「どちらでもない」「受けていない」が多い。一方、「受けている」が最も多いのは、「災害時の避難地の確保」、次いで「みどり豊かな白井市をアピールするような良好な都市景観の形成」で、2～3割程度である。
- 白井市のみどりに対する愛着・関心より、愛着・関心がある層が最も多いが、**今後愛着・関心が薄い層についての啓発も考えられる。**
 - 市民の白井市のみどりに対する愛着は、「ある」が7割程度である。愛着が薄い属性としては、若年層や在来集落地（白井第一～三小学校区）の住民が挙げられる。
 - 事業所の白井市のみどりに対する関心は、「ある」が5割程度、「どちらでもない」が4割程度である。関心が薄い属性としては、企業または事業所を主な顧客層とする事業所と本店位置が白井市内の事業所である。
- みどりを大切にするまちづくりの必要性については、概ね理解がなされている**と考えられる。
 - みどりを大切にするまちづくりの必要性は、市民では「必要」が9割程度、事業所では「必要」が7割程度である。

市：市民アンケート 事：事業所アンケート

(7) みどりに対する認識

①市民がみどりを大切にするまちづくりに期待する効果

市 問8：みどりを大切にするまちづくりで、どのような効果を期待しますか。あてはまるものすべてに○



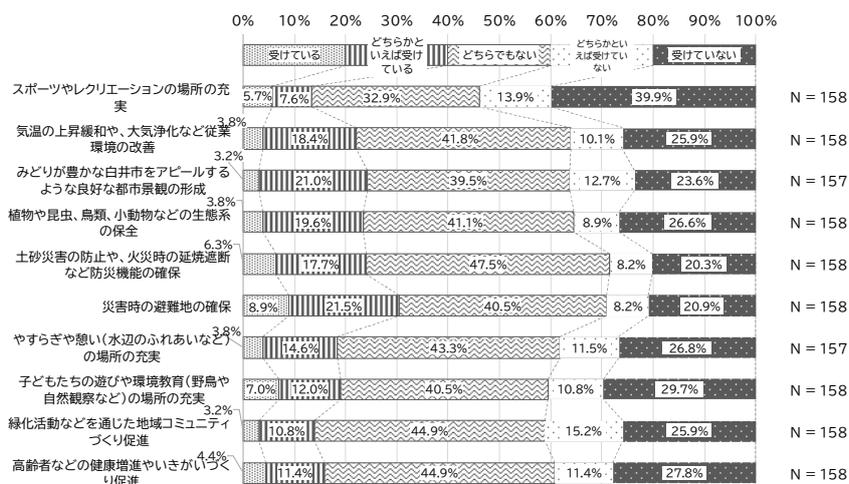
・市民のみどりを大切にするまちづくりに期待する効果としては、「やすらぎや憩い(水辺のふれあいなど)の場の充実」がもっとも多く6割程度、次いで「子どもたちの遊びや環境教育(野鳥や自然観察など)の場の充実」が5割程度を占める。

市：市民アンケート 事：事業所アンケート

(7) みどりに対する認識

②事業所の恩恵享受の認識

事 問8：現在の白井市において、貴事業所の活動は、以下に示すみどりが持つ機能の恩恵を受けていると思いますか。それぞれ1つに○



・多くの機能について、「どちらでもない」が最も多く4～5割程度を占めている。なお、スポーツやレクリエーションの場の充実については、「受けていない」が最も多く4割程度を占める。

・「受けている」と「どちらかといえば受けている」を合わせて「受けている」と、「受けていない」と「どちらかといえば受けていない」を合わせて「受けていない」として分析

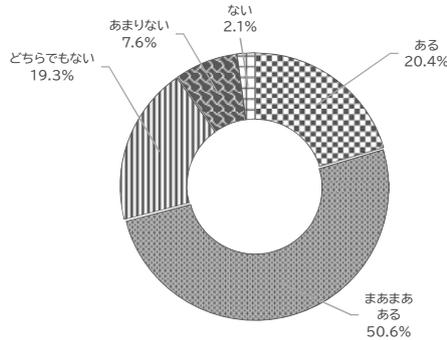
・「受けている」が最も多いのは、「災害時の避難地の確保」、次いで「みどりが豊かな白井市をアピールするような良好な都市景観の形成」で、2～3割程度である。

市：市民アンケート 事：事業所アンケート

(7) みどりに対する認識

③市民の白井市のみどりに対する愛着

市 問13：あなたは白井市のみどりに対して愛着がありますか。1つに○



N = 850

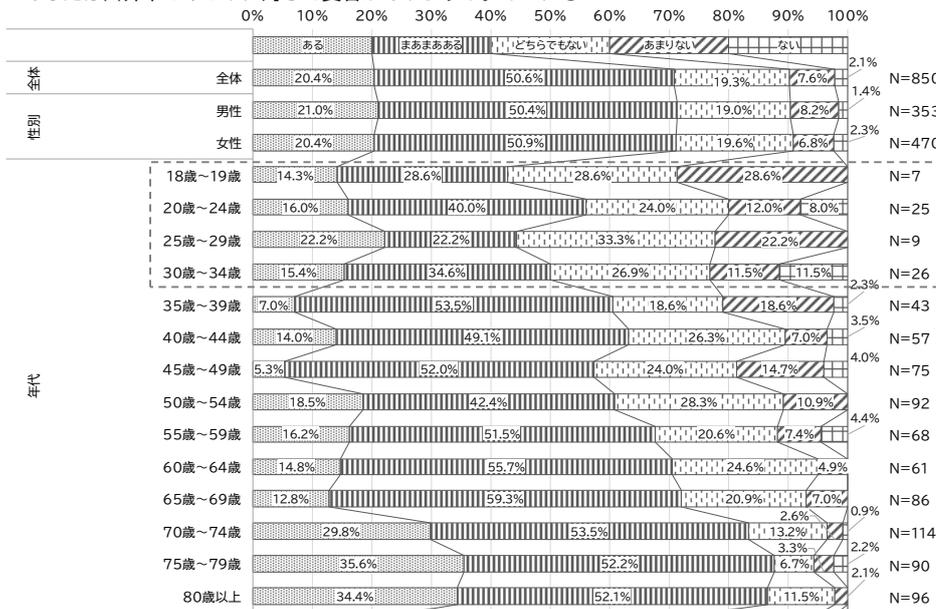
- ・「ある」と「まあまあある」を合わせて“ある”と、「あまりない」と「ない」を合わせて“ない”として分析
- ・白井市のみどりに対する愛着は、“ある”が7割程度である。

市：市民アンケート 事：事業所アンケート

(7) みどりに対する認識

③市民の白井市のみどりに対する愛着（性・年代別）

市 問13：あなたは白井市のみどりに対して愛着がありますか。1つに○



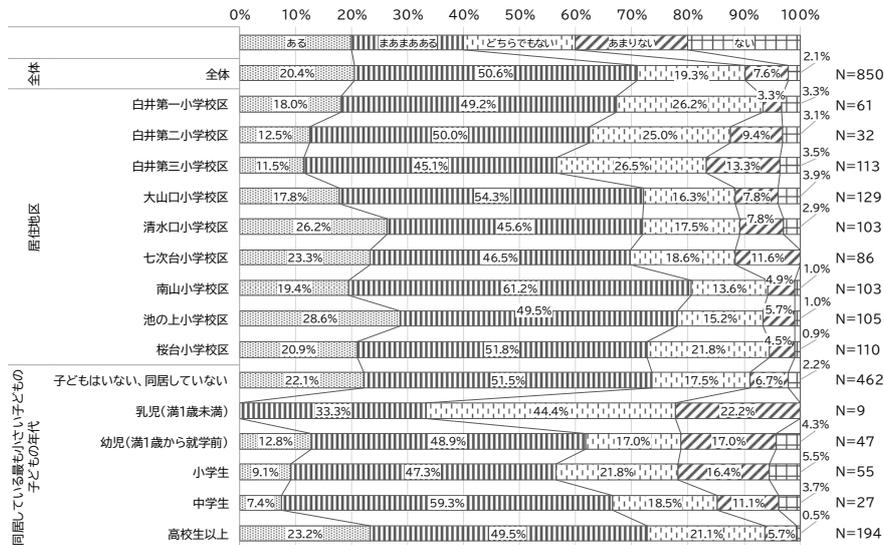
- ・みどりに対する愛着について、性別に着目すると男女で満足度に大きな差はない。
- ・年代に着目すると、年代があがるごとに“ある”が増え、“ない”が減る傾向にある。

市：市民アンケート 事：事業所アンケート

(7) みどりに対する認識

③市民の白井市のみどりに対する愛着（居住地区・同居している最も小さい子どもの年代別）

市 問13：あなたは白井市のみどりに対して愛着がありますか。1つに○



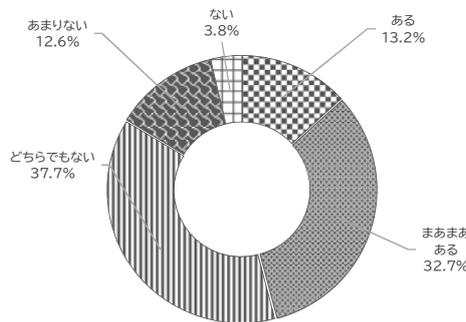
- ・みどりに対する愛着について、居住地区に着目すると、在来集落地（白井第一～三小学校区）では“ある”が6～7割に対し、ニュータウン地区では7割～8割程度である。
- ・最も小さい子どもの年代に着目すると、“ある”の割合は、小学生、幼児、高校生以上、子どもはいない・同居していないの順に高くなっている。

市：市民アンケート 事：事業所アンケート

(7) みどりに対する認識

④事業所の白井市のみどりに対する関心

事 問13：貴事業所は白井市のみどりに対して関心がありますか。1つに○



N = 159

- ・「ある」と「まあまあある」を合わせて“ある”と、「あまりない」と「ない」を合わせて“ない”として分析
- ・白井市のみどりに対する関心について、「どちらでもない」が最も多く4割程度であり、“ある”は5割程度を占める。

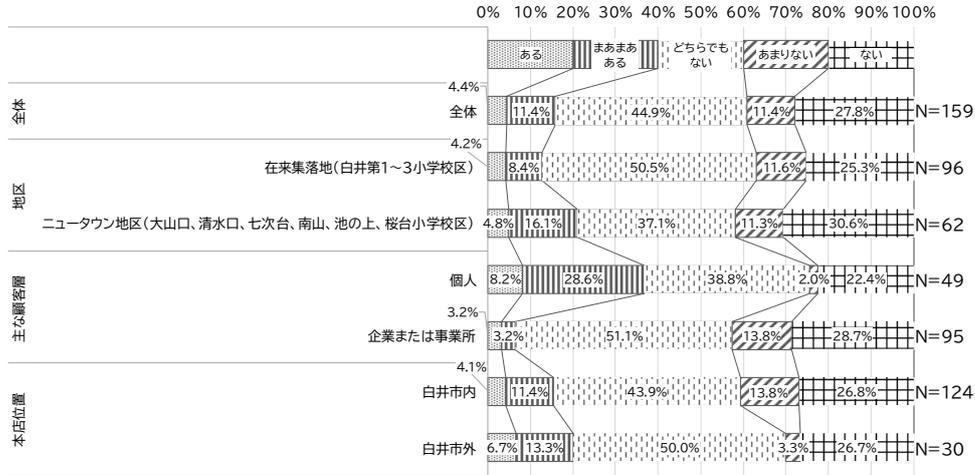
市：市民アンケート 事：事業所アンケート

白井市 景観・みどりに関するアンケート調査結果

(7) みどりに対する認識

④事業所の白井市のみどりに対する関心（地区・主な顧客層・本店位置別）

■ 問13：貴事業所は白井市のみどりに対して関心がありますか。1つに○



- ・みどりに対する関心について、地区に着目すると、在来集落地（白井第1～3小学校区）では“ある”が1割程度に対し、ニュータウン地区では2割程度である。
- ・主な顧客層に着目すると、個人では“ある”が4割程度、企業または事業所では1割未満である。
- ・本店位置に着目すると、白井市内は市外と比較して、“ない”が占める割合が多く、4割程度を占める。

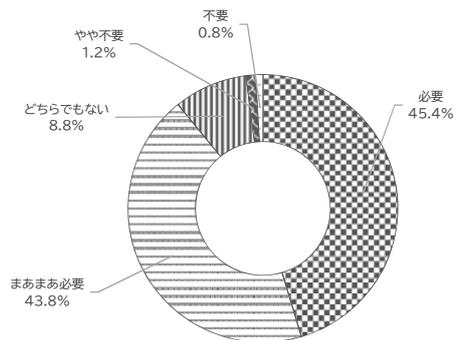
市：市民アンケート ■：事業所アンケート

白井市 景観・みどりに関するアンケート調査結果

(7) みどりに対する認識

⑤市民の白井市のみどりを大切にすまちづくりの必要性

市 問14：あなたはみどりを大切にすまちづくりが白井市やあなたにとって必要だと考えますか。1つに○



N = 831

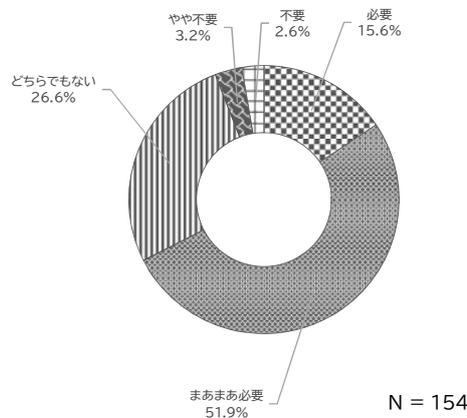
- ・「必要」と「まあまあ必要」を合わせて“必要”と、「やや不要」と「不要」を合わせて“不要”として分析
- ・白井市のみどりを大切にすまちづくりは、“必要”が9割程度である。

市：市民アンケート ■：事業所アンケート

(7) みどりに対する認識

⑥事業所の白井市のみどりを大切にすまちづくりの必要性

■ 問14：貴事業所はみどりを大切にすまちづくりが白井市や貴事業所にとって必要だと考えますか。1つに○



- ・「必要」と「まあまあ必要」を合わせて“必要”と、「やや不要」と「不要」を合わせて“不要”として分析
- ・白井市のみどりを大切にすまちづくりは、“必要”が7割程度である。

市：市民アンケート ■：事業所アンケート

分析結果概要

■制限に対する許容度・認知度

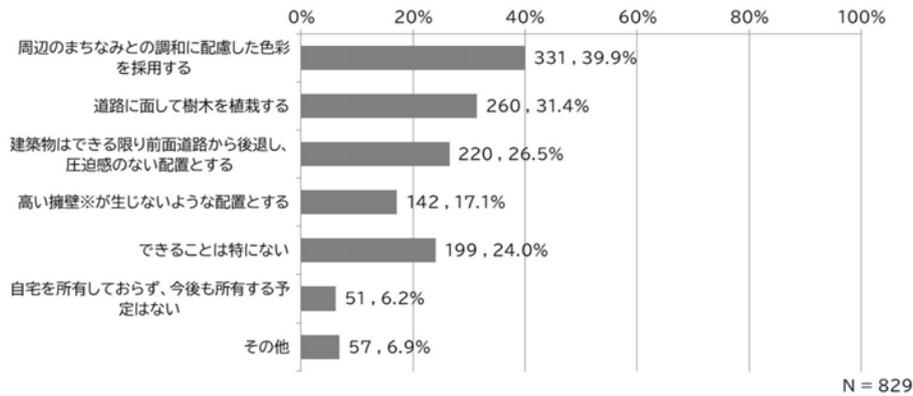
- ・制限に対する許容度より、**景観に関して必要な制限をすることについて、一定程度の理解が得られている**と考えられる。
 - ・市民の許容度について、自宅の新築・改修を行う際に自身ができると思うこととしては、「周辺のまちなみとの調和に配慮した色彩を採用する」が最も多く4割程度で、次いで「道路に面して樹木を植栽する」が3割程度である。
 - ・事業所の許容度について、意欲的な回答である「周辺のまちなみに調和するような形・色彩・デザインとする」「機会があれば周辺のまちなみに調和するような形・色彩・デザインとしてもよい」「自社での指定はあるが、景観に配慮した他地域での事例があり、必要に応じてそのような対応をとってもよい」で5割程度を占めている。
- ・**市及び県の景観・みどりへの取組に対する事業所の認知度をみると、市及び県の景観・みどりへの取組について、より認知を喚ぶことが考えられる。**
 - ・市及び県の景観・みどりへの取組に対する事業所の認知度として、「地区計画の決定」「屋外広告物条例に基づく規制」「地域森林計画対象民有林における立木の伐採や開発行為の制限」について2～3割程度の事業所が認知している。

市：市民アンケート ■：事業所アンケート

(8)制限に対する許容度・認知度

①市民の許容度

市 問5：皆様のご自宅も白井市の景観を構成する重要な要素です。今後、白井市の景観づくりを進めていくにあたり、自宅の新築・改修を行う際に、あなた自身ができると思うことは何ですか。あてはまるものすべてに○



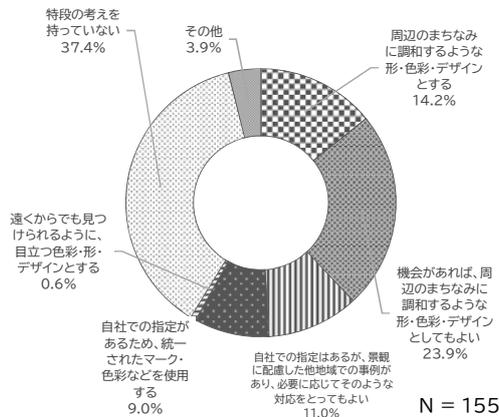
- ・自宅の新築・改修を行う際に、あなた自身ができると思うこととしては、「周辺のみちなみとの調和に配慮した色彩を採用する」が最も多く4割程度で、次いで「道路に面して樹木を植栽する」が3割程度である。

市：市民アンケート 事：事業所アンケート

(8)制限に対する許容度・認知度

②事業所の許容度

事 問3：事業所の建築物や広告物は白井市の景観を形成する重要な要素です。今後の建築物や広告物等の整備・改修について、貴事業所の考えを教えてください。1つに○



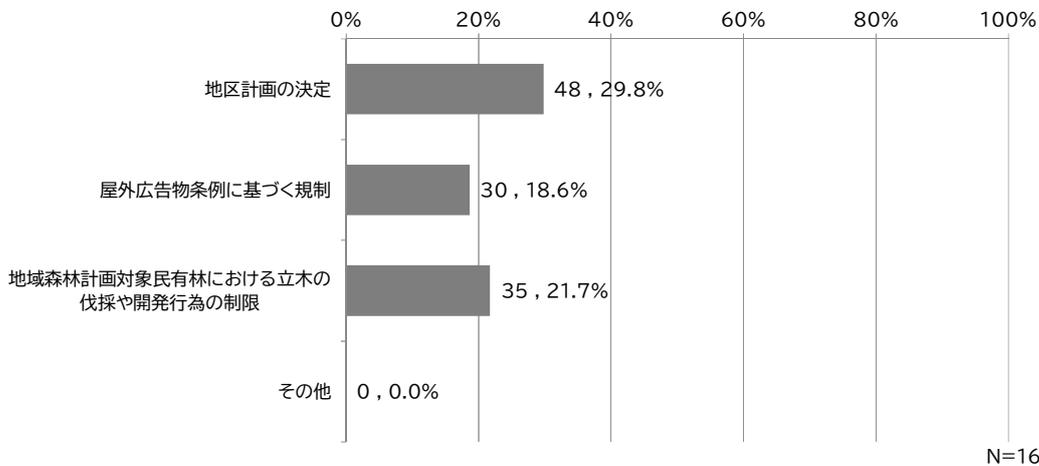
- ・今後の建築物や広告物等の整備・改修についての考え方としては、「特段の考えを持っていない」が最も多く4割程度で、次いで「機会があれば周辺のみちなみに調和するようないい」が2割程度である。
- ・意欲的な回答である「周辺のみちなみに調和するようないい」「機会があれば周辺のみちなみに調和するようないい」「自社での指定はあるが、景観に配慮した他地域での事例があり、必要に応じてそのような対応をとってもよい」で5割程度を占めている。

市：市民アンケート 事：事業所アンケート

(8)制限に対する許容度・認知度

③事業所の市及び県の景観・みどりへの取組の認知度

■ 問15：以下に示す市及び県の景観・みどりへの取組で知っているものがあれば教えてください。あてはまるものすべてに○



・事業所の市及び県の景観・みどりへの取組の認知度について、すべての選択肢の取組が全回答事業所のうち、2～3割程度の認知度である。

市：市民アンケート ■：事業所アンケート

分析結果概要

■市民参画（市民）

- ・市民の景観・みどりの魅力に関する取組状況について、市民が「現在取り組んでいる」が最も多い取組は「自宅や生け垣や庭先、ベランダの手入れ」であり、5割程度を占める。一方、「生き物観察会などの勉強会やシンポジウム等への参加」「建築物の保護に関する活動」「自然観察会、ビオトープ保全に関する生物多様性に関する活動」は2%未満である。
- ・「今後取り組みたい」が最も多い取組は「みどりやまちなみを楽しみながらの散歩やジョギング、農作業等の体験活動」、次点は「公園や道路、河川などの公共空間での緑化・美化活動」でともに4割程度を占める。
- ・取組ごとに「今後取り組みたい」や「わからない」と回答している属性については、より取組促進・意識啓発を図ることが考えられる。

市：市民アンケート ■：事業所アンケート

分析結果概要

■市民参画（事業所-景観）

- 景観の魅力に関する取組のうち、事業所が「現在取り組んでいる」が最も多い取組は「事業所敷地内の緑化」であり、2割程度を占める。一方、「景観に関する勉強会やセミナーへの共催・主催」「景観づくりへの地域住民活動の支援、寄付」は5%未満である。
- 「今後取り組みたい」が最も多い取組は「景観づくりへの地域住民活動の支援、寄付」で3割程度を占める。
- **取組ごとに「今後取り組みたい」や「わからない」と回答している属性については、より取組促進・意識啓発を図ることが考えられる。** また、現在取り組んでいる事業所の取組理由は「地域社会の一員として取り組みたいから」が最も多いため、この理由を打ち出して意識啓発を行うことも手法の1つである。

市：市民アンケート 事：事業所アンケート

分析結果概要

■市民参画（事業所-みどり）

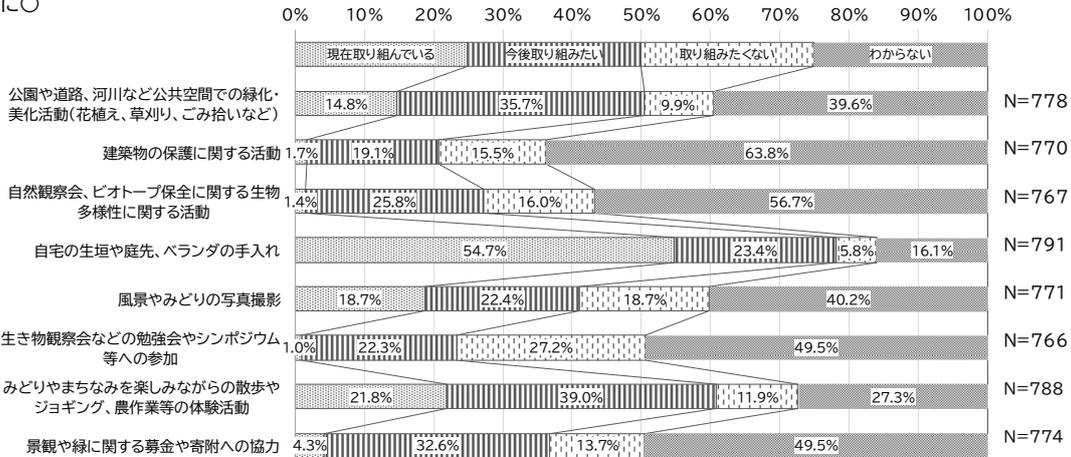
- 事業所敷地内のみどりに関する取組のうち、事業所が「現在取り組んでいる」が最も多い取組は「草花などの植栽（花壇、プランター、菜園など）」であり、4割程度を占める。一方、「緑化した箇所の一般開放」は0%である。
- 「今後取り組みたい」が最も多い取組も「草花などの植栽（花壇、プランター、菜園など）」で2割程度を占める。
- 事業所敷地外のみどりに関する取組を行っている事業所は1割未満である。
- **施策検討時には、取組ごとに「今後取り組みたい」や「わからない」と回答している属性については、より取組促進・意識啓発を図ることが考えられる。** 特に、現在取り組んでいる事業所の取組理由は「地域社会の一員として取り組みたいから」が最も多いため、この理由を打ち出して意識啓発を行うことも手法の1つである。

市：市民アンケート 事：事業所アンケート

(9) 市民参画

①市民の景観・みどりの魅力に関する取組状況

市 問15：あなたは次に示す景観やみどりの魅力に関する取組を行っていますか。あるいは今後取り組みたいと思いますか。それぞれ1つに○



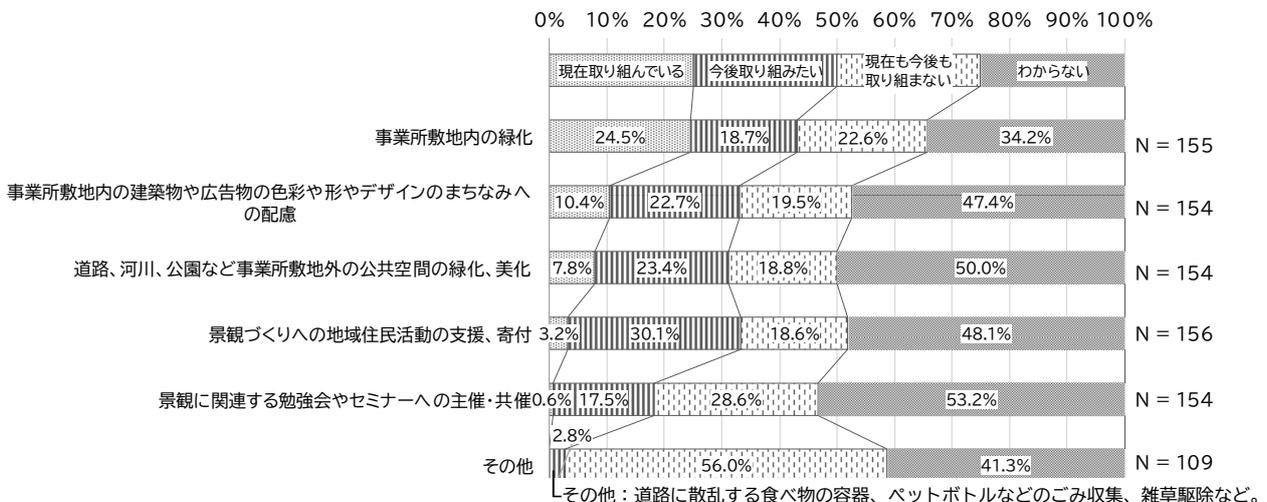
- ・景観・みどりの魅力に関する取組のうち、市民が「現在取り組んでいる」が最も多い取組は「自宅や生け垣や庭先、ベランダの手入れ」であり、5割程度を占める。一方、「生き物観察会などの勉強会やシンポジウム等への参加」「建築物の保護に関する活動」「自然観察会、ビオトープ保全に関する生物多様性に関する活動」は2割未満である。
- ・「今後取り組みたい」が最も多い取組は「みどりやまちなみを楽しみながらの散歩やジョギング、農作業等の体験活動」、次点は「公園や道路、河川などの公共空間での緑化・美化活動」でともに4割程度を占める。
- ・「取り組みたくない」が最も多い活動は、「生き物観察会などの勉強会やシンポジウム等への参加」で3割程度を占める。
- ・「わからない」が最も多い取組は「建築物の保護に関する活動」で、次いで「自然観察会、ビオトープ保全に関する生物多様性に関する活動」で、ともに6割程度である。

市：市民アンケート 事：事業所アンケート

(9) 市民参画

②事業所の景観の魅力に関する取組状況

事 問4：貴事業所は白井市の景観の魅力の向上に関する取組を実施していますか、あるいは今後取り組む予定はありますか。それぞれ1つに○



- ・景観の魅力に関する取組のうち、事業所が「現在取り組んでいる」が最も多い取組は「事業所敷地内の緑化」であり、2割程度を占める。一方、「景観に関する勉強会やセミナーへの共催・主催」「景観づくりへの地域住民活動の支援、寄付」は5割未満である。
- ・「今後取り組みたい」が最も多い取組は「景観づくりへの地域住民活動の支援、寄付」で3割程度を占める。

市：市民アンケート 事：事業所アンケート

(9) 市民参画

②事業所の景観の魅力に関する取組理由（「現在取り組んでいる」取組別）

問5：【問4】で「1(現在取り組んでいる)」「2(今後取り組みたい)」に○をつけた方にお聞きします。景観の魅力の向上に関する取組を行う理由は何ですか。あてはまるものすべてに○

		地域社会の一員として取り組みたいから	企業のイメージ向上につながるから	顧客の関心が高い取組であるから	他社との差別化につながり、業績向上につながるから	従業員の意識向上につながるから	従業員のレクリエーションになるから	税制面での優遇があるから	表彰制度があるから	その他	
	全体	74.4%	47.6%	8.5%	7.3%	18.3%	4.9%	1.2%	0.0%	3.7%	N=82
問4	事業所敷地内の緑化	68.6%	60.0%	5.7%	8.6%	25.7%	8.6%	0.0%	0.0%	8.6%	N=35
	事業所敷地内の建築物や広告物の色彩や形やデザインのまちなみへの配慮	68.8%	56.3%	18.8%	12.5%	37.5%	6.3%	0.0%	0.0%	6.3%	N=16
	道路、河川、公園など事業所敷地外の公共空間の緑化、美化	75.0%	58.3%	8.3%	16.7%	41.7%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%	N=12
	景観づくりへの地域住民活動の支援、寄付	75.0%	25.0%	25.0%	0.0%	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	N=4
	景観に関連する勉強会やセミナーへの主催・共催	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	N=1

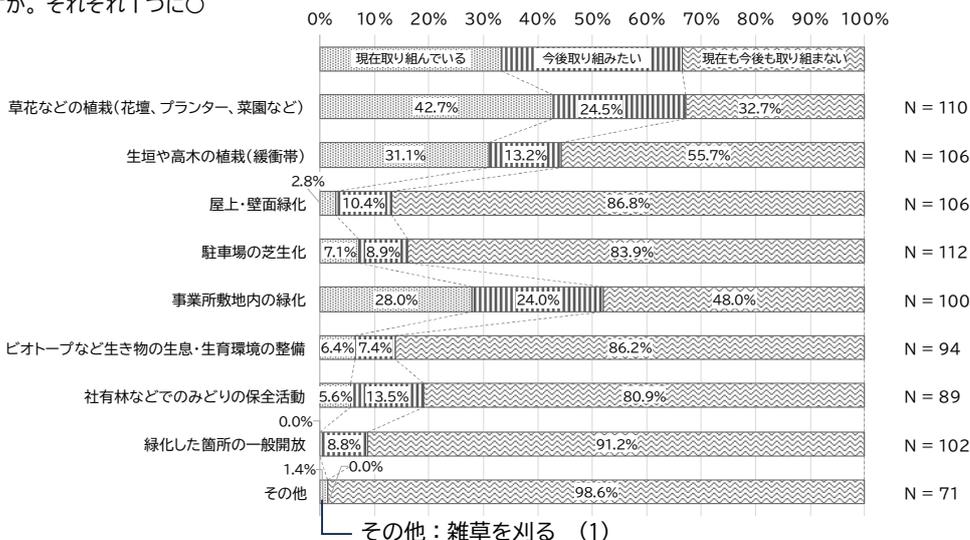
・「現在取り組んでいる」取組別にみると、すべての取組で「地域社会の一員として取り組みたいから」が最も多く7～8割程度を占める。

市：市民アンケート 事：事業所アンケート

(9) 市民参画

③事業所の敷地内のみどりに関する取組状況

問10：【貴事業所は白井市のみどりの魅力向上に関する事業所敷地内の取組を実施していますか、あるいは今後取り組む予定はありますか。それぞれ1つに○



・事業所敷地内のみどりに関する取組のうち、事業所が「現在取り組んでいる」が最も多い取組は「草花などの植栽（花壇、プランター、菜園など）」であり、4割程度を占める。一方、「緑化した箇所の一般開放」は0%である。

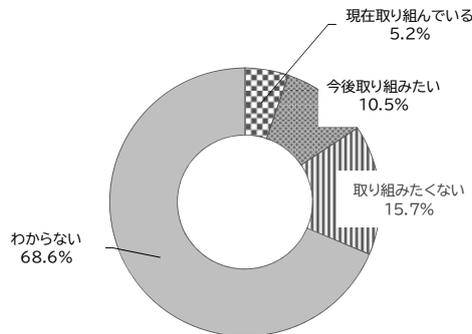
・「今後取り組みたい」が最も多い取組も「草花などの植栽（花壇、プランター、菜園など）」で2割程度を占める。

市：市民アンケート 事：事業所アンケート

(9) 市民参画

④事業所の敷地外のみどりに関する取組状況

事 問11-1：貴事業所では、白井市のみどりの魅力向上に関する事業所敷地外での取組を実施していますか。1つに○



N = 153

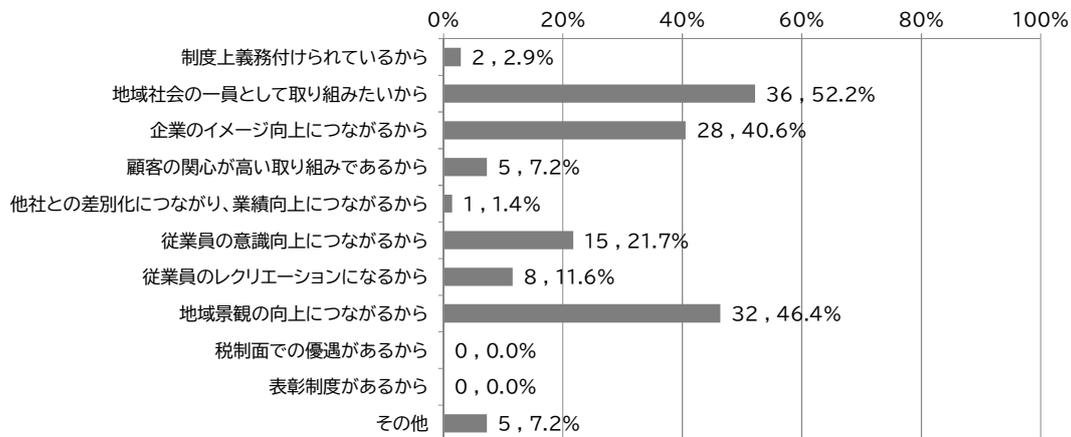
・事業所敷地外のみどりの魅力に関する取組状況については、「わからない」が最も多く7割程度を占め、「現在取り組んでいる」は1割未満である。

市：市民アンケート 事：事業所アンケート

(9) 市民参画

⑤事業所のみどりに関する取組理由

事 問12：問10または問11-1で「1（現在取り組んでいる）」「2（今後取り組みたい）」と回答された事業所にお聞きします。みどりに関する取組を行う理由は何ですか。あてはまるものすべてに○



N = 69

その他回答：自然環境を保全したいから、庭に植木がすでに大量にある、賃貸時にもともと植木などがあったため、仕事、園芸が好きただし取り組む時間がない

・事業所敷地内外でのみどりの魅力に関する取組理由（予定理由）については、「地域社会の一員として取り組みたいから」が最も多く5割程度を占め、次点で「地域景観の向上につながるから」が5割程度である。

市：市民アンケート 事：事業所アンケート